

	<p>日本プライマリ・ケア連合学会 北海道ブロック支部</p>		<p>発行人:支部長 木佐 健悟</p>
			<p>北海道ブロック支部事務局 (市立美唄病院内)</p>
			<p>TEL:0126-63-4171</p>
			<p>e-mail:hpca.jimukyoku@gmail.com</p>

文責 北海道ブロック副支部長 小嶋 一 (溪仁会手稲家庭医療センター) kojimah@gmail.com

昨年度末から続く新型コロナウイルス感染症についてはブロック支部会員の皆様も診療に管理業務に日々ご苦労されていることとお察しいたします。くれぐれもみなさまご自身の健康にご留意下さい。

新型コロナウイルス感染症に関しては学会本部でも様々な取り組みを行い発信しているところです。

「新型コロナウイルス感染症 診療所・病院におけるプライマリケアのための情報サイト」

<https://www.pc-covid19.jp>

<北海道ブロック支部幹部よりご挨拶>

2020年6月の社員総会を経て新たな執行部の体制が決まりました。新たな副支部長も加わり、木佐新支部長のもと、引き続き北海道ブロック支部は活発に活動を進めていきます。

以下幹部からのご挨拶です。

北海道ブロック支部長・全国理事 木佐健悟先生

2020年5月から2年の任期で日本プライマリ・ケア連合学会北海道ブロック選出理事となり、北海道ブロック支部の支部長になりました木佐と申します。

2010年、日本プライマリ・ケア学会、日本家庭医療学会、日本総合診療医学会が合併して、新たに日本プライマリ・ケア連合学会が誕生しました。日本プライマリ・ケア連合学会は全国を8つのブロックに分け、支部活動にも力を入れていく方針となり、北海道ブロック支部が設立されました。

2012年6月23日の定期総会で規約が承認され、ブロック支部の活動が本格的に始まりました。

現在は、年に1回ずつの全世代向けの北海道地方会、学生や若手医療職向けの北海道プライマリ・ケアフォーラムを中心に、ブロック支部会員向けの行事を開催しております。また、札幌以外の関係者が気軽に参加できるように札幌以外で開催するミニ地方会や、道庁のサポートによる道内医学生に総合診療・家庭医療を知ってもらうための企画をしています。全国学会の事業を北海道ブロックで開催する場合は支部でサポートしており、例年総合診療専門研修・家庭医療研修向けの専攻医オリエンテーションや後期研修プログラムのサイトビジットをしています。

様々な支部の活動を通して、北海道のプライマリ・ケア、総合診療、家庭医療の発展・向上、交流、普及、そして次の時代を担う世代の育成に務めて参ります。

ブロック支部の運営は全てボランティアで、北海道ブロックの会員から立候補して選ばれた代議員の互選で選出された幹事による幹事会を年に3回、そのほかに、支部長と支部長が幹事の中から指名した副支部長による幹部会をほぼ月に1回開催し、意思決定をしています。地方会やプライマリ・ケアフォーラムは行事の度に実行委員会を組織し、幹部会と連携をしながら企画・運営をしています。ブロック支部の事務局については市立

美唄病院の皆様には引き受けていただいております、この場を借りて感謝申し上げます。

日本プライマリ・ケア連合学会としても今後はブロック支部活動を強化していく方向となっています。支部長、副支部長、幹事だけでなく多くの支部会員が支部活動の企画や運営に関われるようにしていきたいと思っております。各支部行事への参加をお待ちしています。そして、企画に参加された際にはアンケートなどでぜひフィードバックをお願いします。時には企画や実行委員などの公募をすることもあるかと思っておりますのでその際は積極的な応募をお願いいたします。また、会員の代表である代議員や幹事は北海道ブロック支部では定員割れを起こしているのが現状です。2年後の改選時は多くの立候補者が出て、支部に新たな視点が加わることを期待しています。それぞれが可能な範囲で参加して楽しく活動していきましょう。

皆様の意見を取り入れて、よりよいブロック支部を目指していきたいと考えておりますので、具体的なお意見をお持ちの方はぜひブロック支部事務局までご連絡ください。

北海道ブロック支部副支部長 臺野巧先生
(挨拶略)

北海道ブロック支部副支部長・全国理事 小嶋一

溪仁会手稲家庭医療センター・喜茂別町立クリニックの小嶋です。今期は副支部長に加え、草場理事長指名理事として学会本体での活動も増えます。北海道から中央へ、中央から北海道へ、ブロック支部のみなさまのために力を尽くしたいと思います。引き続きみなさまのお力添えをよろしく申し上げます。

北海道ブロック支部副支部長 佐藤弘太郎先生

北海道家庭医療学センター本輪西ファミリークリニック佐藤弘太郎と申します。木佐支部長の元、オール北海道で総合診療を盛り上げていけるように学生・若手からベテランの方々まで何らかのお役に立てるように力添えできればと考えております。どうぞ宜しくお願いします。

北海道ブロック支部副支部長 佐々尾航先生

このたび新たに北海道ブロック副支部長となりました北海道立羽幌病院の佐々尾航と申します。恥ずかしながら、学会のこと、支部のことなどわからないことばかりではありますが、その分一般の会員の皆様と同じ目線で、活動してまいりたいと存じます。なにとぞよろしくお願い申し上げます。

<報告①令和2年度 北海道ブロック支部定時総会 書面開催>

例年は地方会に合わせて開催している定時総会ですが、今回は以下の報告③にあるように地方会が一年延期となったため書面開催となりました。重要な項目が協議・承認される総会ですので、ぜひ一度資料をご覧ください。

<http://jpca-hokkaido.jp/wp-content/uploads/afad058b0d275603abbe0ea688eb82c5.pdf>

<報告②キャンセル・延期となったブロック支部関連行事>

・2020年6月27日開催予定だった第8回北海道地方会(かでの2・7)は開催が一年延期見合わせとなりました。2021年6月の開催を計画しています。

<http://jpca-hokkaido.jp/wp-content/uploads/afad058b0d275603abbe0ea688eb82c5.pdf>

<告知①第8回北海道プライマリ・ケアフォーラム>

今回のプライマリ・ケアフォーラムはZoomでのオンライン開催となります

【日時】:令和2年 11月21日(土)12時40分~19時20分

【参加費】:無料

【テーマ】:「離れていても寄り添い合うこと」

基調講演:「私とEBMの30年:エビデンスというナラティブ、ナラティブから見たエビデンス」

講師:武蔵国分寺公園クリニック院長 名郷直樹先生

第8回 北海道プライマリ・ケアフォーラム

「離れていても寄り添い合うこと」

WEB開催決定!

基調講演 名郷直樹先生

令和2年 11月21日(土) 12:40~19:20

参加費:無料

主催:日本プライマリ・ケア連合学会北海道ブロック支部
北海道(北海道保健福祉地域医療推進局)

共催:日本プライマリ・ケア連合学会
学生研修医部北海道支部

本フォーラムは「プライマリ・ケア専門医/認定医更新のための単位」,
「プライマリ・ケア認定薬剤師の認定単位」が認定される予定です。

※9月26日開催予定の学生実行委員によるプレ企画のお申込みは別紙ポスターを参照してください。

申し込みフォーム

講師:名郷直樹先生

基調講演

「私とEBMの30年:エビデンスというナラティブ、ナラティブから見たエビデンス」

—それは緑地診療所での疑問から始まり、ひたすら論文を読む時期を過ぎて、個々の臨床場面での利用し続ける30年でした。

なぜEBMを始めたんですか、何がきっかけだったんですか。これまで幾度となく、いろいろな人に尋ねられた質問である。それについて、自分自身の臨床医としての30年を振り返ることで応えたい。そこにわかりやすい理由はない、自分でもよくわからないところがある。しかし、そのわかりやすく言えないということこそ、EBMを始めたきっかけがある。そして、今もってなお、自分自身に起きた何かを、はっきりとこういふことだったと明言することはできない、どんな話になるか、今の時点ではよくわからない。話が終わったところで、それが明らかになるのかならないのか、ぜひ多くの人に聞いてほしい。

企画詳細 9月26日開催予定の学生実行委員によるプレ企画の詳細は別紙ポスターを参照してください。

ワークショップ①
breaking bad news
一生使える「悪い知らせの伝え方」
ワークショップを通じて、悪い情報をストレスなく患者に説明するコツを伝授します!
患者にとって悪い情報を伝えるのは、患者にとっても、医師にとってもストレスの大きい仕事です。実際の症例を使って、上手に患者さんに悪い情報を伝えるための練習をしましょう。

ワークショップ②
在宅医療×臨床推論
在宅医療も外来とも緊急とも違う、在宅における臨床推論について、実際の症例検討をもとに学ぶセッションです。
ある日の午後、いつも診ている患者さんのご家族から「数日前から体調が悪いので診てほしい」と依頼がありました。あなたは、フットワーク軽くご自宅まで往診し、その場で診察して診断を考え方針を決めることができますか?在宅ならではの臨床推論のコツについて、模擬体験しながら楽しく学びましょう。

ワークショップ③
在宅におけるACPのリアル
コロナ時代の今、在宅におけるリアルなACP・人生会議について一緒に考えましょう。
ACP(advance care planning)、人生会議という言葉を目にする機会が多くなってまいりましたが、ACPとは最近導入された新しい概念なのでしょうか?プライマリ・ケアの現場では日々意思決定支援に関わりますが、今回のセッションでは実際の在宅事例を元にみなさんとリアルなACP、そして意思決定支援について考え、ディスカッションしたいと思います。

学生向けキャリア説明会
～あなたに質問してみよう!～
総合診療医/家庭医という選択～
総合診療医/家庭医になるための方法は知っていますか?総合診療医/家庭医に興味を持った良いもの、専門医プログラムがまだまだ足りてよくわからない!家庭医と総合診療医のプログラムって違う?など、日々疑問に思ふことも多いのではないのでしょうか。今回は、皆さんのキャリア形成に関する疑問に、総合診療医/家庭医として活躍している先生方が対話形式でお答えします!きっとあなたのやりたいところに手が届く!奮ってご参加ください。

学術集会の並行企画
懇親会(対象:学生限定)
普段話すことができない現場で働く総合診療医/家庭医として働く先生方や、他の参加学生と自由に語っていただく場です。入退室自由・事前申込不要です。学生ならあなたでもご参加できます。気兼ねなくご参加頂きますようお願いいたします!

【WEB開催について】
新型コロナウイルスの感染拡大状況を鑑み、ZOOMを用いたオンライン形式でワークショップや、講演を行う運びとなりました。ZOOMによるWEB開催は本フォーラム史上初の試みでもあります。この機会に、道内の遠方地域からのご参加や、全国の医師系学生・医学生の皆様のご参加をお待ちしております。

ワークショップ

- ① Breaking bad news 一生使える「悪い知らせの伝え方」
- ② 在宅医療 x 臨床推論
- ③ 在宅における ACP のリアル

学生向けキャリア説明会、学生対象懇親会も開催されます。

またプレ企画として令和2年9月26日に学生実行委員によるワークショップ企画がオンライン開催されます。

「今こそ知りたい!患者中心の医療の方法～家庭医療のエッセンス～」

本企画ではオンラインで医療現場のコミュニケーションを学びます。診療風景のロールプレイ動画を見ながら患者さんへの対応を考えましょう。実際に総合診療医として働く医師からのアドバイスも得られます。言葉だけではない「患者さん中心の医療」とは何か、一緒に考えてみませんか？

WEB開催決定!

第Ⅰ部 13:00-14:50

今こそ知りたい! **ワークショップで学ぶ**
患者中心の医療の方法
～家庭医療のエッセンス～

講師: 黒岩 冴己先生
更別村国民健康保険診療所

第8回 北海道プライマリ・ケアフォーラム
「離れていても寄り添い合うこと」

学生実行委員によるプレ企画!!
開催決定!! 令和2年9月26日(土)

第Ⅱ部 15:00-16:00

開催方法: ZOOM **会話を楽しむ!** 医師×学生 交流企画

参加学生同士や、学生と医師の交流の時間です。キャリアや働き方などのテーマ別に部屋が設けられおり、自由に発言することができます。日々感じている疑問や悩みに関して、語り合いませんか？

テーマ例

- 「皆さん、コロナでどうでした？」
～各大学のコロナ事情～
- みんなで語ろう!
大学における総合診療/家庭医教育!!
- 家庭医/総合診療医を目指した
きっかけを話す会 など。

対象: 医学生 (全学年)
定員: 40名
締切: 9月18日(金)

※本イベントは海外学生の参加も可能ですが、申込受付は9月1日からとさせていただきます。

主催: 日本プライマリ・ケア連合学会北海道ブロック支部、北海道(北海道保健福祉地域医療推進局)

お申し込み下さい
こちらのQRコードか



<ご質問・ご要望をお寄せください!>

北海道ブロック支部では支部長・副支部長が毎月一回ビデオ会議で行なっています。

日本プライマリ・ケア連合学会北海道ブロック支部事務局

〒072-0031 北海道美唄市西2条北1丁目1-1

市立美唄病院内 代表電話 0126-63-4171

北海道ブロック支部事務局アドレス hpea.jimukyoku@gmail.com

担当: 高倉・今澤